

時を経て尚、その価値を高める。

「本物」を手に来る老舗古美術店



屋号は仏教美術の黄金期を築いた奈良時代の天平文化から。2017年10月に小倉より移転オープンしたギャラリーには、博物館収蔵レベルの古美術が並ぶ。(右下)ホテルオークラ福岡隣接。歴史ある老舗が建ち並び昭和通り添いに位置する。古陶磁愛好家垂涎の店だ。



今林 崇さん

1980年、福岡市生まれ。初代店主の元で古美術を学び、店を継承。20年のキャリアを活かして講演会なども行う。「美は心を豊かにして生活に彩りを添えてくれます。古来より大陸文化の玄関口として数々の美術品が行き交った博多で、文化や伝統を後世に繋いでいきたいと思っています。」



古来、神に捧げる祭祀の供物として。或は富と権力の象徴として、時の覇者が愛でた美術品の数々。時を経て一層の輝きを纏うそれらを一度は欲したことがある方も多いのではないだろうか。

だが、需要が高い程に贋作が出るのも世の常。偶々出会った骨董品で苦い想いをされた方も決して少なくはないだろう。

そんな方にご紹介したいのが、蒐集家だけでなく、企業・美術館をクライアントに持つ、古美術の老舗「天平堂」だ。

九州一の賑わいを有する、中洲川端駅周辺ながらも、落ち着いた感じの昭和通り沿い。福岡を代表するラグジュアリーホテル・ホテルオークラ福岡に隣接したビルの一階。ギャラリー正面には、かの北大路魯山人が「古器観」と揮毫した扁額が掲げられ、猥雑感が微塵もない、整然且つ美しく配された古美術品が迎えてくれる。

並ぶのは、古唐津、鍋島、古伊万里の名品を主に、十四代酒井田柿右衛門をはじめとする人間国宝の鑑賞陶器たち。いづれも真価そのままに値付けされ、透明性を高めるため値札も表示。「真贋を

見抜く目があること、真価を適正にお客様に提案することが古美術商としての誇りです」と店主の今林さんは語る。

二代目店主が得意とするのは、九州に端を発する古陶磁や文化人に愛された茶道具など。東京、京都等で開催される国内オークションの他、世界最古の国際競売会社サザビーズや世界最大規模のオークション・クリスティーズにも足を運び、研鑽を積む。

財産となる美術品の売却に際しても、流通の仕組み、作品に際した最善の提案を明示してくれる為、安心して任せられる。

美術館に収蔵される価値を有する名品が集う古美術店。ガラス越しでは伝わらない本物の魅力を感じしに向いてみては如何だろうか。

天平堂 -TENPYODO-

てんぴょうどう



福岡・中洲

☎092-710-6657 📍福岡市博多区下川端町10-12 三善齒科ビル1F 🕒10:00~19:00 🚗不定休 🍷各種可 🚗提携駐車場有(博多リパレイン駐車場) 🚶中洲川端駅より徒歩3分 🌐https://tenpyodo.com/

